

令和4年度選挙に関するアンケート（高校2年生対象）の調査概要

1 調査の背景および趣旨

民主主義の根幹をなす選挙における選挙権の行使は、基本的人権として非常に重要であり、選挙管理委員会および明るい選挙推進協議会においては積極的な投票参加を呼びかけているところである。

しかしながら、近年の選挙における若年層の投票率は低く、特に20歳代の投票率は他の年代に比べ、非常に低い状況となっており、令和3年10月31日執行の第49回衆議院議員総選挙（下記参考資料参照）でもその傾向が顕著に表れている。

こうした中、選挙管理委員会および明るい選挙推進協議会では、近い将来有権者となる高校2年生を対象に、学校教育との連携を図り、「選挙に関するアンケート」を実施し、政治や選挙に対して抱いているイメージや関心度を調査することにより、今後の選挙啓発計画を立案するにあたっての参考資料とするとともに、高校生に対し政治・選挙に対する関心を持たせることにより、若年層に対する有効な早期啓発を行う。

<参考> 年齢別投票率

区 分	18歳 ・ 19歳	20歳 ～ 24歳	25歳 ～ 29歳	30歳 ～ 34歳	35歳 ～ 39歳	40歳 ～ 44歳	45歳 ～ 49歳	50歳 ～ 54歳	55歳 ～ 59歳	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳 ～ 74歳	75歳 ～ 79歳	80歳 以上	計 (注)
令和3年10月31日 第49回衆議院議員 総選挙	44.13 %	32.28 %	38.63 %	46.15 %	49.03 %	51.58 %	55.04 %	59.84 %	65.21 %	71.19 %	73.02 %	74.31 %	73.14 %	47.95 %	57.33 %

(注)上の年齢別投票率は、県内各市町において標準的な投票率であった各1投票区を抽出し、その投票率を集計したものです。
ただし、計の投票率は全数調査による数値です。

2 調査期間

令和4年7月1日～9月6日

3 調査対象

県内の高等学校および特別支援学校高等部に在籍する全ての2年生（12,080人）

4 調査項目

(1)設問数： 18問（無記名によるアンケート方式）

(2)調査票： 「V資料編」のとおり

※調査票については、啓発資材として自宅に持ち帰っていただくよう指導を依頼した。

5 回収結果

回収数 10,827件（89.63%）

6 結果利用上の注意

以下の理由のため、構成比の合計が100とならない場合がある。

- ・比率の算出については、単位未満を四捨五入しているため。
- ・複数回答の設問について、有効回答者数（回収数から無回答者を除いた数）を規正標本数としているため。